

平成 29 年

第 1 回府中市議会定例会

# 市長説明要旨

府 中 市



## はじめに

国は、「安倍内閣の取組によって、雇用・所得環境が着実に改善し、経済の好循環が生まれた。今後も、アベノミクスを一層加速していく」とし、「一億総活躍社会の実現に向けては、未来への投資の拡大に向けた成長戦略を積極的に推進する」としています。

本市の経済情勢については、わずかながら改善が見受けられるものの、税収が伸び悩むなど、引き続き厳しい状況にあります。しかし、このような状況であっても、人口減少、少子化、高齢化等に対処していくための予算を編成し、地域の活性化につなげていかなければなりません。

新年度予算については、『第4次府中市総合計画』やその他諸計画に掲げた施策を踏まえ、限られた財源の中、「府中で子どもを産み、育てたい」「府中で働きたい」「府中で暮らしたい」と思われる「選ばれるまち」となるために挑戦する、『挑(いどむ)』予算としました。

また、挑戦の原動力となる地方創生事業については、予算を優先的に措置し、『府中市総合戦略』に掲げた「安心して働くための産業振興と雇用の創出」、「安心して子育てができる働き方や暮らし方の環境づくり」、「多様な働き方や暮らし方が提供できることでの移住・定住の促進」を目指します。

## 1 都市基盤づくり

人口減少や少子高齢化が進む中で、高度成長期に拡散した市街地は低密度化しており、日常生活に必要な生活利便施設等を維持することは困難となりつつあります。

今後策定する『府中市立地適正化計画』に基づき、都市基盤と産業基盤が整い、働く場・住む場・農地が調和する基本市街地の形成に向けたまちづくりを進めます。

都市計画道路目崎出口線については、新年度も引き続き用地取得に取り組み、可能な箇所から改良工事を行います。

都市再生整備事業については、府中市民病院改築工事や道の駅整備事業が終了しましたが、府中駅西広場やみんなの公園、広谷出口大黒線等を整備し、府中駅周辺から石州街道までの回遊性を

高めます。

橋梁等の公共土木施設については、『府中市橋梁長寿命化修繕計画』に基づき予防保全に努め、長寿命化と補修費用の縮減を図ります。また、過疎対策事業については、市道松の木線の改良工事、市道中山風の瀬戸線の用地取得に取り組めます。

桜が丘住宅団地の販売については、引き続き営業範囲の広域化、広告宣伝の強化、販売促進イベントの見直し等により新規顧客の開拓に努め、早期の完売を目指します。

## 2 生活環境づくり

消防・救急体制の充実を図るため、消火栓、防火水槽を整備するとともに、消防団のポンプ車を計画的に更新するなど、防火活動の機動力向上を図ります。

また、地域の防災リーダーとなる防災士の養成に努めるとともに、自主防災組織の組織化と活性化を支援します。

広島県の土砂災害警戒区域の指定に基づき、指定された地域の土砂災害ハザードマップを作成します。

住宅・建築物の耐震化について啓発を行うとともに、耐震診断・耐震改修の補助制度の活用を促進します。

土砂災害特別警戒区域内の既存の住宅・建築物の所有者に対して、土砂災害に備える改修に必要な経費の一部を助成するなど、災害に強いまちづくりを進めます。

災害時の避難場所とするなど、防災機能も持ち合わせた公園として鶉飼児童公園と鶉飼西公園を整備します。

適切な管理が行われていない空き家については、今後策定する『府中市空き家等対策計画』に基づき、申請があった空き家の現地調査を行い、所有者等に対して指導・助言を行います。また、空き家の除却費に対する補助制度を創設するなど、空き家を増加させない対策を講じます。なお、居住可能な空き家については、都市圏住民の移住や就業につながるよう有効活用にも努めます。

水道事業については、城山浄水場の急速ろ過池、管理棟等の耐震工事を行います。また、国道 486 号外 7 路線の老朽管更新を行います。

下水道事業については、事業認可の変更を行い、未普及地域の

解消に向けた管渠埋設工事に取り組みます。また、今後約 10 年  
間を期間とする汚水処理施設整備構想を策定します。

環境衛生の推進については、出口川湧水処理施設の汚泥脱水機  
等の更新を行うとともに、緑ヶ丘汚水処理施設を解体します。

桜が丘墓園については、市民の墓地需要に応えるため、第 2 期  
造成工事を行います。

増加する事故や悪質な犯罪から市民を守るため、防犯カメラを  
6 機増設します。

多様化する消費生活トラブルや特殊詐欺被害などを防止する  
ため、広島県の基金を活用して情報提供に努めるとともに、相談  
業務の充実を図ります。

### 3 地域資源を活用したまちづくり

「ものづくり」産業を核に、本市の自然・歴史・産業等の地域  
資源や地域特性を生かしたまちづくりを進めます。

経済の好循環を地域産業の活性化につなげる取組として、地域  
ブランドの構築、販路拡大、新技術・新サービス・新商品の開発  
等に取り組む中小企業者や小規模事業者、市内で起業に挑戦する  
女性や若者等を支援します。

また、備後圏域連携協議会の取組である福山ビジネスサポート  
センター Fuku-Biz（フクビズ）や産業支援コーディネーター制  
度等を活用し、中小企業者や小規模事業者の活動を支援します。

さらに、市内企業の「ものづくり」の技術を生かし、新たに航  
空機関連産業分野への進出を視野に入れ、航空機関連の技術を学  
び、研究する大学の誘致に向けた基本構想を策定します。

移住・定住促進については、移住希望者向けの「ものづくり体  
験ツアー」や、都市圏在住者と市内企業等とのマッチングイベン  
トを開催します。

農業振興については、農業従事者の高齢化に対処するため、「担  
い手が将来の生活設計を描ける経営の確立」を目指して、集落法  
人等経営力の高い担い手の育成とその生産体制の強化を促進し  
ます。また、6 次産業化に必要な特産品の新規作付けや試験栽培、  
販路拡大の取組を支援します。

さらに、地元産農産物を地元加工業者、学校給食、道の駅びん

ご府中等へ安定供給することで、「地産地消」を推進します。

農業の生産基盤を確保するため、竹田池と鷹ノ巣池の整備を行います。

観光振興については、道の駅びんご府中、キテラス府中、上下歴史文化資料館等において府中市の魅力を発信するとともに、観光ルートの開発、観光情報の発信、観光ツアー等を他市町と共同で実施します。

魅力ある観光地づくり事業については、滞在時間の延長、観光消費額の増加を図るため、上下町の白壁のまち並みの景観形成や特産品開発等に取り組み、賑わいを創出します。

## 4 健康地域づくり

未来の府中市を担う人材を育てるためには、「府中で子育てしてよかった」と実感できる子育て環境を整えることが重要です。

仕事と家庭の両立支援、働き方改革、女性就労支援を促進するための企業啓発セミナーや、市内の中学校 2 年生を対象として「自立」や「結婚」等をテーマに講演会を実施します。

保育事業については、中須保育所を民営化することにより、ニーズの高い低年齢児保育を拡充します。また、市内の保育環境を充実させるため、認可した私立保育所の施設更新に必要な経費の一部に対し財政的支援を行います。

POM府中市こどもの国については、新年度に新築工事が完了し、先進的な機能として、木育の拠点施設、一時預かり室、ボルダリング設備等を整備します。

広島県内初の取組であるウッドスタート事業については、市内業者が製作した「ありがとうつみき」等をトートバッグに詰めた「すくすく木育バッグ」を配布します。

母子保健事業については、特定不妊治療に対する助成に加え、新たに一般不妊治療に対する助成を開始することで、子どもを産みたいと希望する人への支援を拡大します。

また、子育てにかかる負担の軽減を図るため、出産応援金制度による助成と、乳幼児等医療制度による通院・入院に係る医療費の助成を継続します。

地方独立行政法人府中市病院機構については、『第 2 期中期計

画』の2年目を迎えるにあたり、運営する2つの市民病院の経営改善及び経営管理体制の構築に向けた支援を行うなど、引き続き政策的・財政的支援を行います。

また、府中市民病院では、最新の医療機器を備えるとともに、地域医療連携室に併設した府中市地域包括支援センターのサブセンターにおいて、一度に医療と介護の相談に応じる体制を整えるなど、「支える医療」を推進します。

医師をはじめ医療従事者の確保については、大学病院等への協力要請や、医師育成奨学金及び医療体制確保等支援事業補助金の制度周知に努めます。

また、府中地区医師会や府中市病院機構と連携してシンポジウムや公開講座等を開催し、医療施策の普及啓発に努めます。

湯が丘病院については、府中市認知症初期集中支援推進事業の実施に伴い、北部圏域（旧上下町）における認知症初期集中支援チームの体制を整え、認知症初期の疑いのある人や家族に対するサポートを実施します。さらに、医師等の人材確保、施設の建替えに向けた検討等、計画的な病院運営に努めます。

平成30年度からの国民健康保険の広域化（県単位化）に向けて、県及び他市町と連携しながら、国民健康保険の安定的な運営を目指します。

高齢者福祉については、団塊の世代が75歳以上となる平成37年を目途に、重度の要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けることができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケア体制を構築します。

介護保険サービスの基盤整備については、訪問系・医療系の看護小規模多機能型居宅介護や、定期巡回・随時対応型訪問介護看護等の地域密着型サービスを整備し、要介護者の在宅生活を支援します。

また、地域支援事業の充実分として新たに位置づけられた生活支援体制整備や認知症施策、在宅医療・介護連携、地域ケア会議等に関する事業を積極的に推進します。

障害者福祉の推進については、新年度で『府中市障害者福祉計画・第5期障害福祉計画』を策定します。また、障害者の雇用機会の拡大に向けた施策の推進を図ります。

地域福祉の推進については、府中市社会福祉協議会、民生委員・児童委員、各町内会等と連携を図り、地域で支え合う体制づくりに努めます。

## 5 教育・スポーツ・文化のまちづくり

小中一貫教育については、中国地方で初めて義務教育学校の制度を導入し、平成 29 年 4 月、府中学園と府中明郷学園を義務教育学校に、府南学園と上下学園を中学校併設型小学校、小学校併設型中学校にそれぞれ移行します。

また、コミュニティ・スクールの取組を広げ、「地域とともにある学校づくり」を推進します。さらに、中学生に英語技能検定の受験を促し英語力の向上を図るなど、世界へ羽ばたくグローバルな感覚とローカルなアイデンティティを持った「グローバル人材」を育成します。

縦糸である小中一貫教育と横糸であるコミュニティ・スクールが府中市の義務教育を織り成すことにより、未来へ羽ばたく人づくりを進めます。

学校教育施設の整備については、『学校施設改修計画』に基づき、南小学校と旭小学校のトイレ改修等を行います。

学校給食については、食育と地産地消を推進し、成長期の子どもたちの健康と栄養バランスに配慮した「安全・安心でおいしく楽しく食べられる学校給食」の提供を目指します。

生涯学習の推進については、市民が生涯にわたって主体的に学習できるよう、学習情報の提供や学習環境の充実を図ります。また、学習発表の場である「府中学びフェスタ」を引き続き開催します。

スポーツの推進については、『府中市スポーツ推進計画』に基づき、指導者の育成やスポーツ施設の充実に努めます。

文化財の保存・活用については、国史跡に指定された備後国府跡の保存活用計画の策定に着手するとともに、史跡の一部を公有地化します。

## 6 市民協働のまちづくり

市民・企業・行政が一体となってまちづくりを進めるためには、



情報の共有化を図ることが必要であることから、広報紙、ホームページ、行政テレビ番組、エフエムラジオ等を活用し、行政情報を市内外へ積極的に発信します。

市民一人ひとりがお互いの人権を尊重し、思いやりのある豊かな社会をつくるため、「e.街いきいきフォーラム」を開催するなど、人権尊重に対する理解を深める活動に取り組んでいきます。

## おわりに

以上、新年度予算編成にあたっての基本的な考え方と概要をご説明申し上げました。

今年度は、「道の駅びんご府中」や「府中市民病院」が完成し、備後国府跡も国の史跡指定を受けるなど、府中市として新たな一歩を踏み出した年でもありました。

また、返礼品制度を始めて2年目となるふるさと納税については、府中市のまちづくりに興味を持たれた皆様から多額の寄附をいただいています。そのご厚意に応えるためにも、府中市が「選ばれるまち」となるよう、まちの魅力をさらに磨き上げなければなりません。

さて、新年度には、POM府中市こどもの国が完成するなど、集客性の高い公共施設が新たに誕生し、市内外の多くの皆様にご利用いただけることを期待しているところです。

これらの公共施設を活用して、いかに地域活性化につなげるかは、より良い施設にしようとする「人の知恵と熱意」で決まると言っても過言ではありません。

いくら良い施設を作っても、市民の皆様にご利用していただけない、愛されない施設では意味はありません。「人の知恵と熱意」たるソフトとハードがうまくかみ合っこそ本来の目的が発揮でき、地域活性化につながるようになります。

今後も厳しい行財政運営となることが予想されますが、将来へ向けて地域として自立するため、地方創生関連事業をはじめ様々な施策に取り組みますので、皆様の府中市政に対するより一層のご理解とご協力を改めてお願い申し上げます。